

# 北見武道通信

令和6年6月20日 00696号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町8丁目4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

URL <http://www.kitamibudokan.org/>

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

[satou.toshiharu@navy.plala.or.jp](mailto:satou.toshiharu@navy.plala.or.jp)

第33回 北整北海道少年柔道大会  
第14回 北整北海道少年柔道形競技会



## ニュースレター【事務局情報】

### 努力が実り 北整北海道少年 柔道形競技会で優勝!

6月9日(日)千歳市開基記念総合武道館で行われた「第14回北整北海道少年柔道形競技会」で北整北見ブロックから出場した「なかざわ道場A」が優勝しました。なかざわ道場は毎週、北見市武道館で柔道の稽古を行っており、子供たちの技量もしいについていました。今回の優勝もその努力が実

った結果といえるでしょう。11月17日(日)「文部科学大臣杯争奪日整全国少年柔道大会」では、「取」山田侑輝選手(東相内小6年)「受」村田美久選手(三輪小6年)が北海道代表として講道館柔道「投の形」で全国優勝を目指します。(佐藤)

## 連載 中国「老子」の思想 三十八章 仁義礼智は虚飾

徳の上なるものは、徳であろうと努めない。だからこそ、真の徳と

なる。徳の下なるものは、徳であろうと努める。だからこそ、徳でなくなる。徳の上なるものは、徳であろうと作爲せず、徳の名を得ようとしぬ。徳の下なるものは、徳であろうと作爲したうえ、徳の名を得ようとする。仁の上なるものは、仁であろうと作爲するが、仁の名を得ようとはしぬ。義の上なるものともなれば、義であろうと作爲したうえ、義の名を得ようとする。礼の上なるものに至っては、みづから礼であろうと作爲するだけでは事足りず、ひとにまで礼を強制する。したがって、以下のようにいえるだろう。「道」にのっとりとする「徳」が現れるのは、無爲自然の道が失われた後であり、「仁」が現れるのは、徳が失われた後であり、「義」が現れるのは、仁が失われた後であり、そして「礼」が現れるのは、義さえも失われてしまった後である。そもそもこの礼たるや、人の本性が忘却されてはじめて生ずるのであって、乱のはしりにほかならぬ。「智」に至っては、道から見ればうわべの飾りであって、愚のはじまりにほかならぬのだ。志操堅固な人間は、本性を守って虚飾を捨てる。つまり、仁義礼智を顧みず、ただ「道」にのっとりのみである。

原文:上徳不徳、是以有徳。下徳不失徳、是以無徳。上徳無爲而無以爲。下徳爲之而有以爲。上仁爲之而無以爲。上義爲之而有以爲。上禮爲之而莫之應、則攘臂而扔之。故失道而後徳、失徳而後仁、失仁而後義、失義而後禮。夫禮者、忠信之薄、而亂之首。前識者、道之華、而愚之始。是以大丈夫處其厚不居其薄、處其實不居其華。故去彼取此。三十九章に続く

